

現状・課題

(1) 地域ならではの魅力ある素材が観光に十分に生かされていない

例) 集落活動センターでのものづくり体験、地域食材を生かした食事の提供、商店街散策、地元の人が通うお店巡り、農作業体験、間伐体験 など

観光素材となる伝統文化の継承が困難になっている

例) 神楽、祭り、太鼓、郷土料理 など

(2) 地域での周遊が促進されていない

① 取組が個々の施設・事業者等のレベルに留まっており、地域（面）に広がっていない

(3) 長期滞在に必要な機能が十分でない

① ホテル・旅館の多い高知市、幡多地域での観光客の宿泊の割合が高い
② 観光スポットの近くに飲食施設がない、土日休みの店が多いなど、飲食の提供機能が弱い

(4) 二次交通が脆弱

① 中山間地域へのアクセス、地域間での移動の際に手段が限られる

(5) 人材の不足

① 地域で取組等の核となる人材が少ない
② 行事等への参加者・協力者が少ない

5期計画（令和9年度）の目指す姿

目標値

観光施設入込客 出発点(R4)111.8万人 ⇒ 4年後(R9)146.5万人
1 旅行当たりの県内立寄件数 出発点(R4) 1.7件 ⇒ 4年後(R9) 2.2件
※ いずれの数値も高知市を除く

観光業を中心に地域経済が活性化するとともに、地域の人々が地域の良さを再認識・再発見し愛着を持って暮らしている

令和6年度の取り組み

新 (1) 地域ならではの魅力ある素材を生かした観光商品づくり

① 住民とのふれあい、暮らしに触れる、一次産業の活性化に資する観光商品の造成
② 伝統文化の継承につながる観光商品（宿泊付き）の造成

拡 (2) 観光客動向データ等を活用した周遊促進の取組の強化

① 地域住民、観光事業者、市町村等の連携による周遊の促進

(3) 長期滞在の促進

① 宿泊施設を中心に観光事業者が連携した滞在時間延長の取組の支援
新 ② 複数の宿（一棟貸しの宿、古民家ホテルなど）を中心に地域を深く味わいながら過ごすことのできる地域づくり
新 ③ 長期滞在に必要な飲食提供機能の強化

拡 (4) 二次交通対策の充実

① 観光客が利用可能なコミュニティバスやデマンドバス等の情報発信
② 県内バス会社と連携したバスツアーの造成・販売の支援
③ 広域観光協議会等によるタクシープランの造成・販売の支援

拡 (5) 人材の確保

① 移住促進と連携した人材の誘致
② 商品づくり、周遊促進・滞在延長の取組などを通じた人材の掘り起こし